

下野三楽園のあゆみ

大正

元年 11月 1日 ・創設

(日光山輪王寺門跡彦坂諶照主唱により同寺院住職発起人となり県下官民有志の協力を得て創設。(設立当初入所児童男子3名)園長:彦坂諶照)

4年

・3年度決算に輪王寺より壹千貳百六拾五円の借入の記載有

・6月30日発行の4年度園状報告に輪王寺門跡事務所より貳百九拾壹円60銭の寄付の記載あり

9月 5日 講堂工事着手

10月 10日 講堂完成

5年

・家庭舎一棟建築

6年 2月 11日 ・内務省より事業成績顕著なるを認められ金百五十円の奨励金を下付される

・天台宗務庁より事業の成績を認められ補助金を交付せられる。

次後毎年補助を受けるに至る。

7年

・6年度収支決算に輪王寺交付金五百円の記載有

7年度からは壹千円の記載有(11年から壹千六百元)

12月 2日 ・輪王寺境内へ当園売店敷地使用許可願いが知事より許可される

9年 2月 11日 ・内務省より金五十円の奨励金を下付される。

2月 16日 ・財団法人の設立認可。 児童収容舎の増築。

・彦坂諶照 総裁、今井徳順 理事長兼園長となる。

10年 2月 5日 ・総裁彦坂諶照師遷化せられる。

2月 11日 ・宮内省より事業御奨励の思召をもって金壹百円也御下賜せられる。

2月 11日 ・内務省より金五十円の助成金を下付される。

10月 ・今井徳順 総裁となる。

11月 ・人見貞開 理事長兼園長となる。

11年 2月 11日 ・宮内省より金四百円也御下賜せられる。

・内務省より金三百円の助成金を下付される。

11年 ・創立満十周年記念事業として、事務所及び家庭舎の移築改築、渡廊下の新設水道の敷設等を行う。

11月 1日 ・創設十周年記念事業挙行

12年 2月 11日 ・宮内省より金四百円也御下賜せられる。

・内務省より金三百円の助成金を下付される。

13年

・震災直後を迎え財界の不況取引銀行等の休業によりこのころより次第に経営難に陥る。

2月 11日 ・宮内省より金三百円也御下賜せられる。

・内務省より金二百円の助成金を下付される。

・今井徳順総裁 栃木県知事より表彰される。

14年 6月 ・栃木婦人協会と聯合して宇都宮市において三日間資金募集の慈善興行を開催する。

昭和

2年 2月 11日 ・宮内省より金三百円也御下賜せられる。

・内務省より金二百円の助成金を下付される。

6月 ・栃木婦人協会、足利市社会事業協、本園の三団体聯合して足利市において一週間托鉢資金募集をなす。

3年 2月 11日 ・内務省より金二百円の助成金を下付される。

・栃木婦人協会と聯合共同資金募金を開始する。

4月 ・足利市社会事業協会より金壹百五十円の特別助成を受ける。

4年 2月 11日 ・宮内省より金二百円也御下賜せられる。

・内務省より金二百円の助成金を下付される。

5年 2月 11日 ・宮内省より金壹百円也御下賜せられる。

・内務省より金三百円の助成金を下付される。

・地方財政益々窮迫を告げ為に金銭の募集は労多くして効少なく依ってこの年より方向を変じて飯米を募集する。

・足利市社会事業協会より金壹百円の特別助成あり。

5年 12月 ・皇后陛下より御内帑金二百円御下賜の光栄に浴す。

6年 2月 11日 ・宮内省より金壹百円也御下賜せられる。

・内務省より金三百円の助成金を下付される。

7年 2月 11日 ・宮内省より金壹百円也御下賜せられる。

・内務省より金三百円の助成金を下付される。

3月 20日 ・救護法による救護施設として認可を受ける。

6月 29日 ・理事会第3号議案として(株)下野中央銀行休業による欠損金処理が審議される

12月 ・三菱、住友両家より金九百円也助成を受ける。

8年 2月 11日 ・人見貞開理事長栃木県知事より社会事業功労者として表彰される。

・宮内省より金三百円也御下賜せられる。

・内務省より金三百円の助成金を下付される。

12月 ・財団法人原田積善会より金千二百五十円也の特別寄付を受ける。

9年 2月 ・栃木県知事より救護施設設備拡張の認可を受ける。

2月 ・恩賜財団慶福会より設備拡張工事費へ金壹千円也の補助を受ける。

3月 10日 ・工事に着手す。(第1收容保育舎、第2收容保育舎建替、1棟122.76㎡)

3月 30日 ・栃木県知事より設備拡張工事費に対し金八百九十円也の補助を交付される。

10年 1月 31日 ・那須郡高林村凶作地より男女22名收容(3月27日開催理事会重要事項で報告)

11年 1月 27日 ・罹災救助資金助成に関し、10年度においても継続助成方陳情のため、人見理事長 伊藤県社会課長と共に上京し内務大蔵両省に出頭陳情

2月 11日 ・宮内省より金三百円の御下賜、内務省より金三百円奨励金

- ・恩賜財団慶福会より金三百円の助成
- 19日・罹災救助助成金中より金千五百円助成すべしとの指令を受く
- 12年 12月 3日・今井徳順総裁遷化せられる。
 - ・三井報恩会より金三百円の助成
 - ・三菱合資会社より金四百円の特別助成
- 13年 2月 11日・宮内省より御下賜金、厚生省より奨励金
 - ・関口慈眞 総裁となる。
- 12月 16日・三井報恩会より金三百円の助成
- 24日・三菱株式会社より金貳百五十円の助成
- 15年 5月 11日・全国私設社会事業大会において全国私設社会事業連盟より関野書記
 - 満23年勤続者として表彰を受ける
- 10月 6日・皇紀二千六百年記念社会事業大会で人見理事長 厚生大臣より表彰
- 11月 1日・皇紀二千六百年と本園設立三十周年記念感謝祭を開催して、賛助会員
 - 並びに本園関係者を招待する
- 12月 22日・財団法人三井報恩会より昭和15年度補助金貳百円の指令を受ける
- 16年 2月 11日・宮内省より御下賜金、恩賜財団慶福会より金三百円の助成
- 12月 24日・三菱合資会社より金貳百五十円の助成
 - 27日・三井報恩会より金貳百円の助成
- 17年 2月 11日・宮内省より御下賜金
- 10月 4日・事理会協議事項として、下野銀行からの申し出による預金処分の審議
- 18年 2月 11日・宮内省より御下賜金(金三百円)
- 19年 2月 11日・宮内省より御下賜金(金三百円)
- 3月 9日・株式会社三菱より金三百四十円の助成
- 9月
 - ・小暮慈全 理事長兼園長となる
- 20年 2月 11日・宮内省より御下賜金(金三百円)
 - ・園舎等増築整備(第4収容保育舎77.775㎡、第5収容保育舎86.625㎡、
第6収容保育舎86.625㎡、第7収容保育舎86.625㎡、
教養室42.075㎡、共同浴場26.4㎡)
- 21年 2月 11日・宮内府より御下賜金
 - ・恩賜財団慶福会から金壹百円の助成
- 12月 20日・恩賜財団慶福会から金七百円の助成
- 22年 2月 11日・宮内府より御下賜金
- 22年 4月
 - ・菅原英信 総裁となる
- 8月 22日・生活保護法の保護施設として認可
- 10月 31日・マキッロプ神父 ララの救援を視察で来園
- 23年 4月 29日・宮内府より御下賜金
- 8月 22日・養護施設として認可(定員102名、入所棟7棟)

- 24年 4月 29日 ・宮内府より御下賜金
7月 9日 ・秩父宮妃殿下ご来園
12月 ・プール(防火水槽)完成
- 25年 4月 ・人見貞開 理事長兼園長となる
・人見貞開 理事長 有栖川宮選奨表彰
5月 18日 ・高松宮殿下ご来園
- 26年 4月 ・人見貞開 理事長 藍綬褒章受章
- 27年 3月 ・菅原英海 総裁となる
5月 14日 ・社会福祉法人へ変更認可
- 30年 11月 1日 ・創設四十五周年記念式典挙行
- 31年 1月 31日 ・児童棟1棟(第8収容保育舎、98.439㎡)を整備し、定員134名の認可
12月 10日 ・櫻井 杲 医師 嘱託医に就任
- 33年 7月 31日 ・炊事棟にボイラー設備増設、第5～第8保育舎に食堂増築
- 34年 7月 31日 ・児童棟1棟(第9収容保育舎、99㎡)を整備
11月 ・齊藤喜十郎 職業指導員黄綬褒章受章
- 35年 6月 15日 ・浴場の新築(49.23㎡)
9月 1日 ・定員140名の変更認可
11月 30日 ・児童遊戯室改築(106.425㎡)
- 36年 1月 ・住居表示が戸祭町1550番地から和尚塚町1丁目64番地に変更となる
- 40年 4月 ・人見貞開 理事長 勲四等旭日小綬章受章
- 41年 ・住居表示が宇都宮市桜4丁目2番18号に変更となる
- 43年 3月 1日 ・入所児童の減少により、定員120名に変更認可
8月 ・人見貞諦 理事長兼園長となる
- 45年 10月 23日 ・施設移転に伴う「地鎮法要及び起工式」を行う
- 46年 6月 16日 ・桜4丁目にあった施設が老朽化したため、現在地(篠井)に移転新築
建物延べ1,702.23㎡鉄筋コンクリート一部2階建
(管理棟827.72㎡、児童棟南館504.84㎡、児童棟北館508.98㎡)
倉庫建設(102.24㎡)
引越しには、宇都宮陸上自衛隊の協力がある(6月7日)
- 47年 8月 ・貴船謙道 理事長、黒子昇 園長となる
- 48年 ・構内、園庭、グランド整備の実施
グランドの拡張整備については宇都宮陸上自衛隊が作業(11月29日～30日)
- 49年 3月 1日 ・理事会で運営資金不足により、運用財産の畑の売却が決定した旨報告
売却する土地:宇都宮市鶴田町3641-7畑(1,123㎡)
10月 30日 ・幼児の入所増加に伴い、日中の幼児保育の向上のため幼児棟増築
(157.26㎡)
- 50年 6月 ・宮田謙啓 理事長となる

- 12月 ・柴田昌源 総裁となる
- 51年 ・洗濯室増築(24.08㎡) お年玉年賀葉書寄附金の配分により
- 52年 ・工作室増築(46.20㎡)
- 11月 6日 ・子育地蔵尊開眼法要
- 53年 2月 17日 ・宇都宮二荒ライオンズクラブから救急用自動車としてライトバン一台寄贈
- 3月 17日 ・火災により調理員宿舎消失
- ・職員宿舎2棟増築(55.14㎡、54.05㎡)
- 54年 3月 15日 ・国際ソロプチミスト宇都宮から桜苗木(ソメイヨシノ)20本の寄贈
園進入路の両側に植樹
- 8月 19日 ・国際児童年記念地域交流事業「篠井地区子供の集い」を本園グラウンドで開催
- 55年 5月 ・グラウンド周りのネットフェンス整備
- 8月 17日 ・第2回地域交流事業「篠井地区子供の集い」を篠井小学校体育館で開催
- 56年 4月 29日 ・宮内省より御下賜金
- 10月 25日 ・秋季運動会を第3回地域交流事業「篠井地区子供の集い」と合同として開催
以後、秋季運動会を地域交流事業と開催する(平成5年度まで開催)
- 57年 4月 小口悦男 園長となる
- 4月 22日 ・栃木経済交友会からカラーテレビ一台寄贈
- 6月 4日 ・宇都宮二荒ライオンズクラブから柿の木苗木10本、栗の木苗木10本寄贈
- 12月 10日 ・墓地(納骨堂)新設許可(下小池字下古川193番地)
- 58年 3月 23日 ・下野三楽園児物故者供養塔開眼式
- 12月 17日 ・全日本自動車産業労働組合より組立式プール一台寄贈
- 59年 6月 20日 ・成善建設から手作り「神輿」の寄贈
- 60年 11月 ・疋田實 園長補佐勲六等瑞宝章受章
- 61年 6月 ・鈴木常俊 理事長となる
- 62年 ・中央競馬会の助成によりマイクロバス購入
- ・マイクロバス車庫増築
- 63年 4月 ・平木典子 養護主任勲六等瑞宝章受章

- 平成
- 元年 3月 ・荻原貞興 総裁となる
- ・大規模修繕の実施(床組補修工事、防水補修工事、暖房配管改修工事)
- 5年 4月 ・猪狩和久 園長となる
- 7年 2月 ・鈴木常俊 総裁となる
- 6月 ・中里昌念 理事長となる
- 10年 11月 26日 ・西館増設の「地鎮法要」を行う
- 11年 6月 ・入所児童の高校進学が増加する中、児童の自立支援と文化的生活を
図るため西館の増設(629㎡)

- 6月 10日 ・西館園舎の「落成法要及び落成式」を行う
- 13年 6月 29日 ・役員会で苦情処理検討委員会の設置と第三者委員3名の委嘱を決定
- 14年 ・小暮道樹 理事長となる
- 16年 12月 ・菅原栄光 総裁となる
- 17年 12月 28日 ・施設の運営改善について栃木県知事から勧告を受ける
- 18年 1月 23日 ・運営改善委員会の委員委嘱及び第1回委員会の開催
- 3月 13日 ・運営改善委員会から「活動報告並びに最終建議書」が提出される
- 3月 27日 ・栃木県知事あて改善計画書を提出
- 3月 ・田村匡彦 園長となる
- 4月 ・柴田立史 理事長となる
- 6月 ・鈴木常元 理事長となる
- 22年 ・小規模グループケアに向けて西館浴室等の改修の実施
- 8月 28日 ・園舎新築のための「地鎮法要」を行う
- 23年 1月 14日 ・下野三楽園養育目標「慈悲・智慧・勇猛」を制定
- 3月 22日 ・施設の老朽化と定員減少しての小規模グループケアの実施のため
 全面改築する(西館を除く)
 管理棟406. 183㎡、児童居住棟(東館・南館)589. 048㎡
 交流室163. 513㎡、宿直室・自立生活室63. 394㎡
 倉庫112. 500㎡
- ・定員40名に変更
- 4月 1日 ・高久哲 園長となる
- 4月 26日 ・新園舎の「落成法要及び落成式」を行う
- 24年 10月 13日 ・創設100周年記念式典
- 27年 3月 27日 ・小暮道樹 総裁となる
- 30年 4月 1日 ・藤原崇夫 園長となる
- 令和
- 2年 3月 27日 ・石塚慈雄 総裁となる